

# 南房総市エコツアーリズム基本計画



平成19年3月

南房総市

# 目次

## 南房総市の概要

1. 南房総市の沿革	2
2. 南房総市の位置	3
3. 南房総市の地勢	3
4. 南房総市の気候	4

## エコツーリズムの理念と基本方針

1. エコツーリズムとは	5
2. エコツーリズムにより期待される効果	6
3. エコツーリズムの理念と目標設定	8
4. エコツーリズム推進の基本方針の設定	13

## 南房総市エコツーリズム

1. 現状の把握	14
2. 課題の確認	27
3. 課題を解決するための検討	29
4. 課題解決と推進の方策	32

## 南房総市エコツーリズムの将来像

1. 南房総市のあるべき姿	35
2. 実現に向けた方策	35

資料編	37
-----	----

# 南房総市の概要

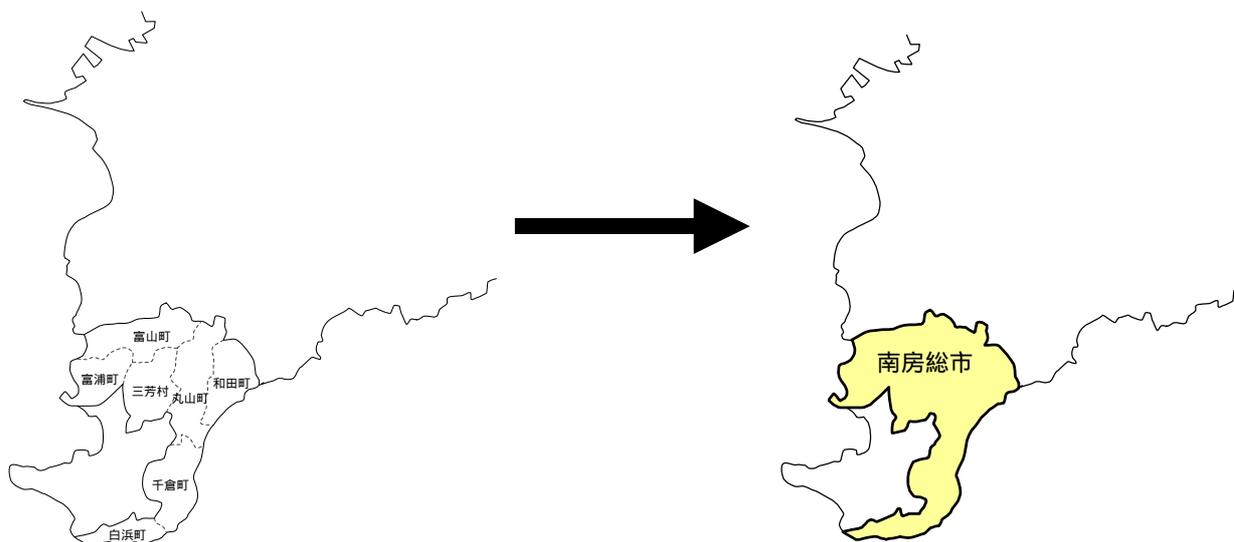
## 1. 市の沿革

南房総市が位置する安房地域は、718年に上総国から分かれ明治初期まで安房国と呼ばれ、かつては多数の荘園が存在しており、これらは中世末まで統治者の交代を繰り返してきた。戦国時代に入り15世紀中頃に里見氏が安房統一を果たし、戦国末期に館山城を築城して安房国統治の拠点とする。

しかし、その後里見氏は、江戸幕府による全国支配体制の確立により、1614年に改易され、以降この地は旗本領、天領、小大名の領地として分割統治されることとなる。

近代に入り、明治4年廃藩置県によって本市区域は木更津県の所管となるが、明治6年に木更津県が廃止されてからは、千葉県に属することになった。明治11年の郡区町編成法施行により郡制を施行し、明治30年には「交通の便が相互にあり、且つ民情風俗に大差ない」という理由から、安房郡、平郡、朝夷郡、長狭郡の四郡を合併して、安房郡が形成される。

そして昭和30年前後に安房郡富浦町、富山町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町及び和田町が誕生し、平成18年3月20日、この7町村が合併し、新しく南房総市となる。面積は、230.22km<sup>2</sup>に及び、新市としては県内で千葉市に次ぐ4番目の面積となる。



## 2. 位置

首都東京から100km圏に位置し、時間距離2時間程度、県庁所在地の千葉市までは1時間30分程度の時間距離にある。

平成9年に開通した東京湾アクアライン、平成16年に開通した一般国道127号富津館山道路に続き、来年度には東関東自動車道館山線が開通する見通しとなっており、東京圏からの時間距離の短縮により半島性の解消が期待されている。



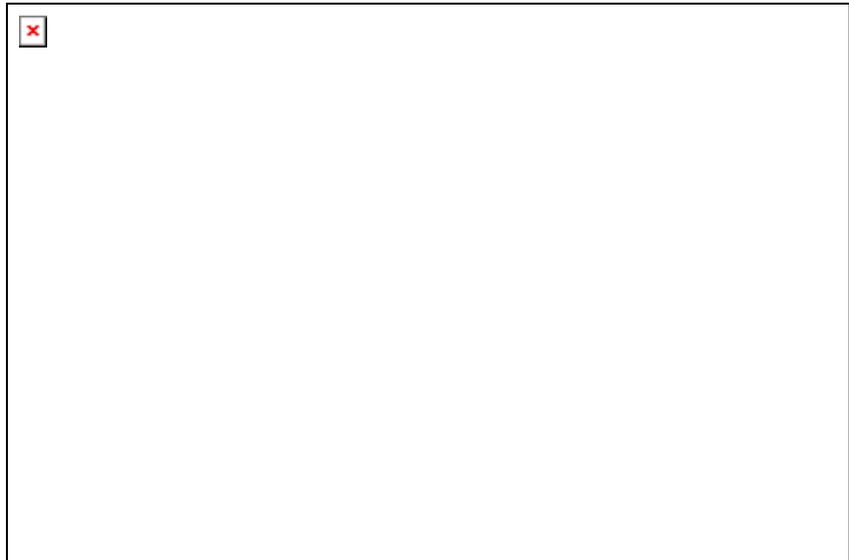
## 3. 地勢

本地域は、房総半島の南端に位置し、房総丘陵が広がり、北側には県下最高峰の愛宕山(408m)をはじめ、富山(349m)等300m以上の山が連なっている。西側には東京湾、東側及び南側には太平洋と3方を海に囲まれ、その海岸線は、南房総国立公園に指定されている。最南端は野島崎である。四季折々に咲き乱れる花々などの自然資源の宝庫となっている。

#### 4. 気候

三方を海に囲まれた千葉県は、冬暖かく夏涼しい海洋性の温暖な気候です。特に南房総沿岸は、沖合いを流れる暖流（黒潮）の影響を受け、冬でもほとんど霜が降りない。

降水量は、夏季に多く、冬季は少ない気候となっている。沖合いを流れる黒潮の影響を受け、冬は暖かく夏は涼しい海洋性の気候で、年間平均気温は約16度。南部には、1年を通して霜の降りない無霜地帯もあり、冬の露地花が一足早い春の訪れを告げる。



白間津の花畑(千倉)

# エコツーリズムの理念と基本方針

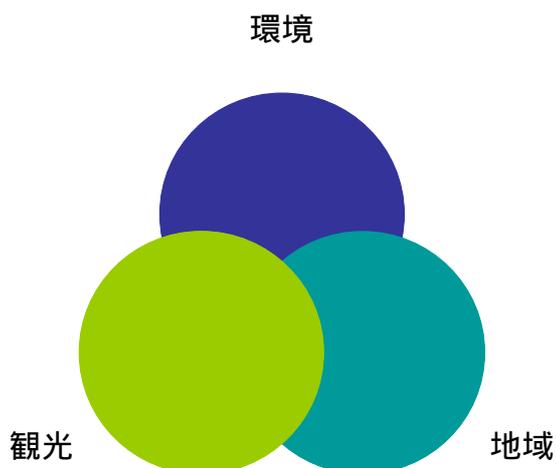
## 1. エコツーリズムとは

エコツーリズムとは、旅行者が自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光産業のあり方である。

自然の成り立ちや歴史・文化が持つ深い意味をわかりやすく解説し、来訪者に大きな感動をもたらす。それが経済行為として成り立つ。そのことが、地域の自然環境や歴史文化を尊重し、守っていく行動にもつながり、環境と経済の好循環が出来あがる。

もともと途上国の自然保護のための資金調達手法として取り入れられたエコツーリズムの考え方は、持続可能な観光のひとつの領域として先進国でも展開されており、2002年を国連が「エコツーリズム年」とするなど、国際的にも定着した用語(ecotourism)となっている。

### エコツーリズム



ネイチャースクールわくわく WADA



里山の自然



竹の子掘り体験



南総里見八犬伝

## 2. エコツーリズムにより期待される効果

南房総を訪れる来訪者や市民の環境についての意識や理解が高まるとともに、エコツーリズムの展開を通じ市民の連帯感が生まれ、身近な地域の自然・歴史・文化・産業等の資源が見直され保全活動が盛んになることと、エコツアーなど新たな観光需要による地域経済の活性化が期待される。

### (1) 環境保全

地域の自然環境・文化資源に対しては、それらの価値が維持されるよう保全され、または向上する。

### (2) 観光振興

観光業に対しては、その地域の歴史や文化に様々な角度からより深く接したいという多様化するニーズに的確に対応することで、新たな観光需要を起こすことができる。

新たな観光需要に伴う経済効果は、地域の農漁業分野や商工分野、公共交通分野にも及び、幅広い地域経済の活性化につながる。

### (3) 地域振興

市町村合併して間もない本市にとっては、広範囲にわたる地域資源を活用するエコツーリズムの取り組みを通じて、地域間交流が促進され、地域の連帯感による新たなコミュニティの形成により地域振興が図れるとともに、都市住民の地域に対する理解も深まることから、都市農村交流が活性化し、移住者の増加などにつながる。



エコミュージゼ研究会



保護看板



とみうら土曜学校

## エピソード

自然の中での体験は大人ばかりでなく、子どもたちにも大きな影響を与える。

山梨県にあるK自然学校では、農業体験を実施した。その参加者の家族が、子どもの作ったコメの追加購入を希望し、直販のルートが生まれた。

また参加した子どもが、民泊した農家を家族ぐるみで訪れ、親戚のようなつきあいが始まったという例も見受けられる。この子どもは将来農業に従事したいと聞いていると聞く。このような例は、ほんの一例に過ぎないかもしれない。しかしこのような積み重ねは、いずれ大きな力となり、東京一極集中の是正という、本来、国の政策で取り組まなくてはならないような問題も、自然に解消させてしまう可能性を見いだすことができる。

このようにエコツアーは、今すぐに南房総を活性化する効果と共に、10年後20年後の観光客や、移住者を育てるという意味もある。

そして、このような可能性を信じて、エコツアーを積極的に促進することで、地域の活性化は加速度的にすすんでいくのではないだろうか。



どろんこ交流会(富山)

### 3. 南房総市におけるエコツーリズムの基本理念と目標設定

#### (1) 南房総市におけるエコツーリズムの基本理念

『人と自然のつながりを再生する』

南房総市は、豊富な山系と三方を囲む海それをつなぐ河川。これらが強い結びつきをもって、そこに生息する動植物や魚介類に良い影響を与え続けている。

そこに生活する人々は、この自然と結びついて生活を営み地域文化を育んできた。自然と共存することで持続的な環境保全を行ってきたのである。

今日、「人々」と「自然」の結びつきは薄れ、自然へ悪影響を及ぼし自然は荒廃の一途となっている。豊かな恵みをもたらす美しい自然を未来の世代に引き続いていくためにも、もう一度、自然の一連のつながりや人々と自然のつながりを取り戻すことが必要である。そのために「人と自然のつながりを再生する」を基本理念に掲げ、エコツーリズムの取り組みを積極的に推進する。

エコツーリズムの具体的な取り組みとして、自然体験がとても重要な役割をはたす。なぜなら自然体験は、人と自然のつながりを確かなものにするだけでなく、健やかな心と体、生きる力を育み、人と人のよりよい関係を築いてくれるからである。そしてそのことが新たな観光需要をもたらし、本地域の第一次産業や観光業の振興につながる。

#### (2) エコツーリズムの目標設定

本市では、人と自然のつながりを再生し、エコツーリズムによる効果を地域社会が享受するため、次の目標を定める。

##### (ア) エコツーリズムの理解を広める。

エコツーリズムの啓蒙

エコツーリズムの理念や、その実現による幅広い効果、地域社会に対する貢献について、市民や観光関連業者に分かりやすく伝える。

エコツアー参加者の環境保全への意識の芽生え

エコツアー参加者が、ツアーでの楽しい体験を通して、環境保全に対する意識を高め、自然や文化に対する興味を起し、自然環境保護への意識が芽生えることを目指す。

このような意識変化が、ゴミの分別やエネルギーの節約など、日常生活の中での小さな環境保全のための行動につながる。

### 地域住民の地域資源保全への意識の芽生え

エコツアーを通じ、エコツアー参加者が地元の素材に驚いたり、興味をもったりする様子を見て、地域の自然や文化の価値を再認識することを目指す。また、地域資源の保全に対する意識を高めることで地域住民が、地域の自然や文化をいつまでも大切に保全しているという行動につながる。

### 自然環境を配慮した観光行動

環境に優しい観光をしようという機運が広まるエコツアーが展開されるようになり、エコツアー経験者が増えることによって、一般的な旅行に参加する場合であっても、地域の自然環境に配慮した観光行動がとれる旅行者の増加を目指す。

### 持続的な自然環境の保全

取り決め（ルール）によって自然環境を保護する。誘客による地域経済への貢献をいつまでも持続的に発揮させていくためには、誘客の根元である自然環境を持続的に守っていくことが必要である。



南房総ふるさと生活塾

(イ) 地域連携の輪を広げ、市民活動や地域経済の活性化を図る。

地域住民の活動の活性化を目指す。

これまで、各地域が個別に活動をしてきたが、7つの町村が合併(平成18年3月)したことによりグリーン・ブルーツーリズムなどの豊富な農漁業体験メニューを有することになった。

これら複数の資源を取組んだ魅力ある観光ツアーを提供するために、市民、NPO、団体等の交流の活性化を推進し、新たなコミュニティの創造など地域住民に活力をもたらす。

幅広い地域産業への経済波及効果を目指す。

エコツアーは、地域の特色を誘客に活かすことが特徴となっている。そのため農林漁業分野や商業分野など幅広く地域の人材や地場産品や食材等を用いることができるようにし、経済波及効果を出来るだけ、多くの産業にもたらすことを目指す。

各地域の魅力ある資源を組み合わせプログラムの差別化を図る。

例えば、本地域には、日本で唯一の食の神様を祀る高家神社での庖丁式、関東地方唯一の捕鯨基地、花の料理など地域固有の自然、文化、産業があり、これらを活かしたプログラムの企画開発によって、他地域との差別化を図り、強い誘客力を発揮することを目指す。

従来の観光開発に見られた大規模な施設整備は行わず人材育成とツアープログラムの開発に重点を置く。



ツチ鯨の解体の様子

(ウ)エコツアー(自然体験型観光)を推進し、観光事業の振興を図る。

旅行者数の増加を図る。

新たな観光需要による来訪者増加への期待

エコツアーという誘客魅力づくりによって、新たな観光需要を興し、従来の旅行者に加えて、さらにエコツアーへの参加を目的とするマーケット層の来訪が期待できる。

日帰り客が宿泊化、宿泊日数が増加する

エコツアーは、2時間から半日程度、あるいは1日や数日間か

けて実施されるプログラムなので、エコツアー参加者の増加によって、日帰り客の宿泊化や宿泊日数の増加が期待できる。

リピーターの増加と季節による客数変動が緩和される

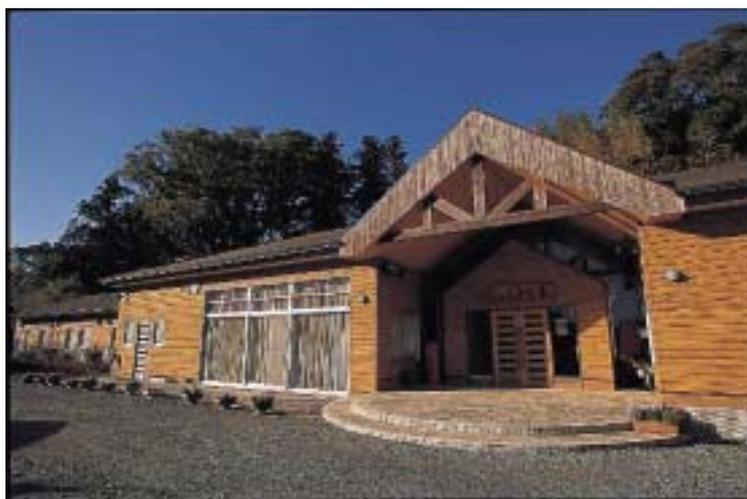
エコツアーでは、季節に応じた素材を活用した季節ごとのプログラム、解説素材の組み換えによる異なるシナリオのプログラム、調査や研究によって解説内容をさらに発展させたプログラムなど、複数のプログラムの企画が可能なので、一度訪れた旅行者であっても再度来訪させ、リピーター化できる可能性がある。これによって、これまでオフであった季節の誘客も可能となる。

修学旅行の受け入れ増加による計画的な事業運営が可能となる

学習効果を高めるために旅行先で体験活動を取り入れる修学旅行や、総合的学習の時間に環境教育をとりいれるケースが増えており、エコツアーに対する期待が高まっている。修学旅行は、おおよそ1年前には実施が決まるので、エコツアーを実施するガイド業や、宿泊を受けもつ施設にとって、年間を見通した事業運営が可能となる。

自然の宿「くすの木」

酪農体験



旅行者の今日的なニーズを的確にとらえる

「見る」観光から「体験」観光へ

人々の旅行に対する意識は、“特別な行事”から“日常活動の一部”へと変わってきており、これに伴い観光行動は、いくつもの観光地を見て回る「周遊観光」から、ひとつの地域にとどまって自らの体験を通して自然や文化を楽しむ「体験観光」への関心が高まっている。

子供たちに「ほんもの」の自然体験を

子供に「ほんもの」の自然体験を科学技術の進展に伴い、パソコンやテレビゲームなどを通して居ながらにして様々な疑似体験が可能となった。他方、身のまわりの原っぱ、小川や池等の自然にふれあう環境が都会からなくなって久しい。

このような状況下、子どもたちを自然の中で存分に遊ばせながら、森の香り、水の冷たさ、土の暖かみ、あるいは怪我をした時の痛みや恐怖などを感じてほしい、「ほんもの」の自然を体験させたいというニーズが高まっている。



みねおかいきいき館の体験メニュー

中高年齢層の旺盛な「行動力」と「知的探求心」を満たす

中高年齢層などを中心として、トレッキングなどがブームとなっています。中高年齢層のトレッキングでは、歩くことそのものの楽しみに加えて、植物や野鳥などの観察もあわせて楽しんでいる。

このように行動力のある中高年齢層が増加するとともに、旅先での知的探求心が高まっており、その要望に応える必要がある。



花嫁街道

旅行者が、生態系や地域文化に悪影響を及ぼすことなく、自然地域を理解し、鑑賞し、楽しむことができるよう、環境に配慮したプログラムが提供され、地域の自然と文化の保護・地域経済に貢献することを目的とした旅行形態の確立を目指す。

#### 4. エコツーリズムの推進の基本方針の設定

南房総市では、エコツーリズムの推進には既存の取り組み状況、民間事業者と行政のかかわり度合い、推進体制などの種々の状況が地域によって異なっているため各地域の実情に応じた取り組みを推進する必要がある。

地域全体でエコツーリズムを意欲的に牽引する中心となる組織〔以下、中間支援組織（仮称）と呼ぶ〕づくりが求められている。

その組織の設置に向けて調査、研究などを行う運営協議会〔エコツーリズム推進協議会（仮称）〕の立ち上げが急務である。

このエコツーリズム推進協議会は、行政機関と関係団体で構成し、意見交換や関係者間の調整を果たす中心組織として以下の活動が求められる。

- 1) エコツーリズムの意識の啓蒙
- 2) エコツーリズムの中間支援組織の構築
- 4) エコツーリズム基本計画に沿った事業の推進。
- 5) 中間支援組織と共に定期的に計画の見直し等を行う。
- 6) ルールの策定

特に、エコツーリズムの核となる中間支援組織の設立を重点的に検討する。

この中間支援組織は、自然保護、観光振興、地域振興、教育、農林漁業など様々な分野と密接に係わり多岐にわたる調整機能を持つ組織とする。



## 南房総市エコツーリズム

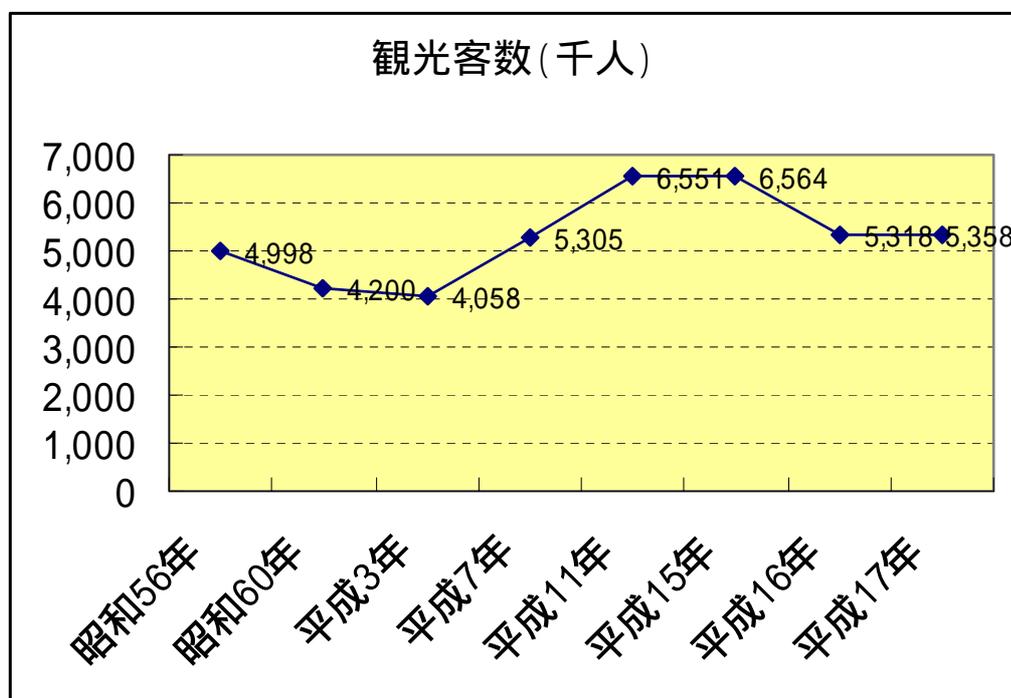
### 1. 現状の把握

#### (1) 南房総市の観光入り込み客の現状

房総半島の南端に位置し、北は県下最高峰の愛宕山(408m)をはじめとした房総丘陵を抱え、西に東京湾、東と南には太平洋と、三方を海に囲まれ、その海岸線一帯は、南房総国定公園に指定されている。

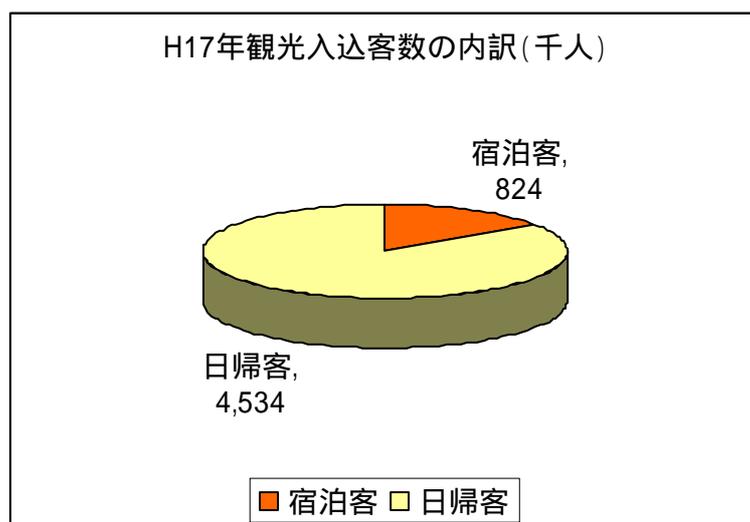
早春の花畑や海水浴、里山ハイキングを中心とした観光のまちである。また、滝沢馬琴の「南総里見八犬伝」のゆかりの地としても有名で、八犬伝や戦国大名里見氏にちなんだ史跡が数多くある。

本地域の年間入込観光客数は、東京湾アクアラインの開通や館山道の延伸、富津館山道路の開通により、首都圏からの交通の利便性が著しく向上したことなどから、この10年間に200万人以上増加しており、平成15年では650万人を超えた。しかしながら、最近では、530万人前後で推移している。

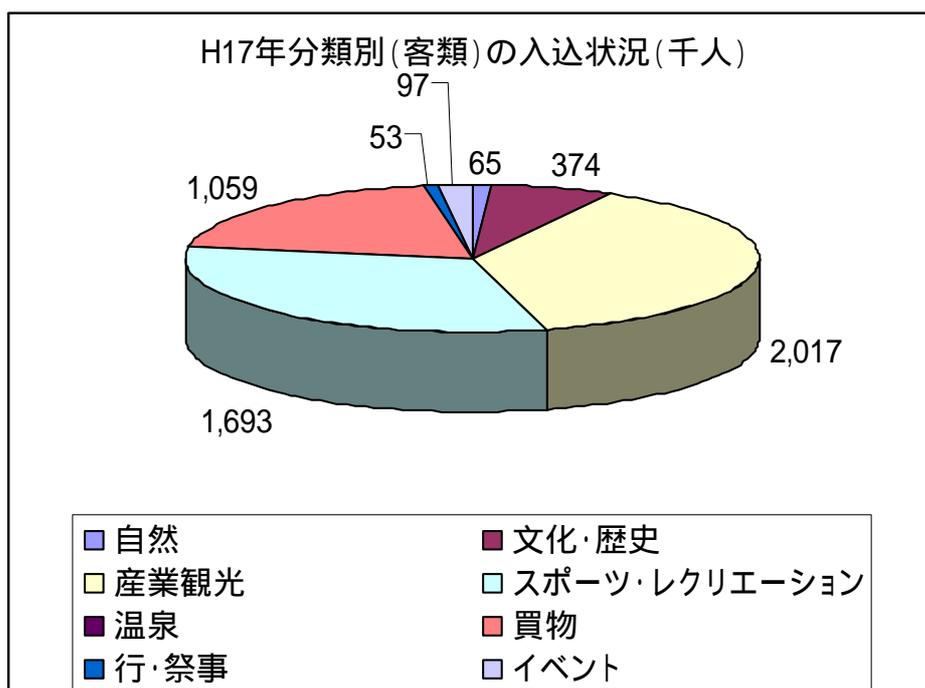


このように、高規格道路の整備により、半島性が解消され、利便性が向上する一方で、日帰観光客が強くなり、宿泊客の減少傾向は歯止めがかからない状況にある。

平成17年の年間観光入込み客数の内訳をしてみると、総数 5,358 千人に対して、日帰り客 4,534 千人、宿泊客 824 千人となっており、日帰り客は全体の 85% となっている。



南房総市の客種別入込み(分類別)でみると、体験型観光を主とする産業観光とゴルフや海水浴、サーフィンなどを主とするスポーツ・レクリエーション、農作物直売所やレストランを主とする買い物で占められている。

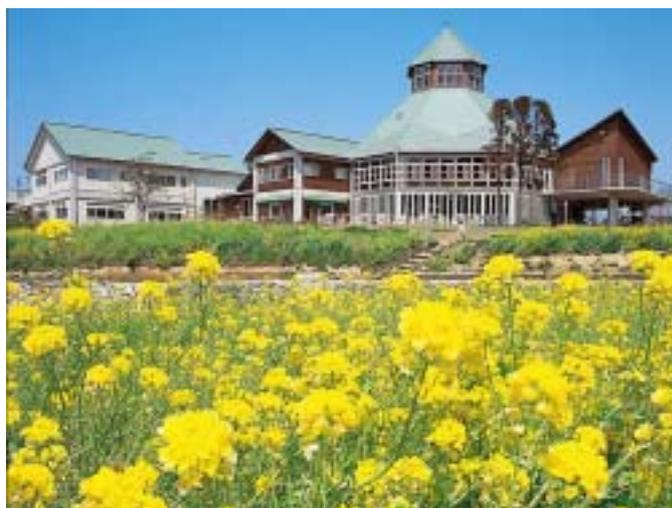


その中でも体験型観光のシェアはもっとも多く、南房総市へ訪れる観光客の体験型観光へのニーズの高さが伺える。また、これらのプログラムは初歩的なエコツアーとしての役割を果たしている。

## (2) 南房総市の主な観光関連施設の現状

市内には「全国の道の駅グランプリ2000」で最優秀賞を受賞した「とみうら枇杷倶楽部」をはじめ7つの「道の駅」があり、産業と文化、観光振興の拠点として、地域の活性化を図るとともに、地域・観光情報の発信、都市農村交流の促進の機能を果たしている。このほかにも海水浴場やハイキングコース、遊歩道、地域特産品の販売、里山体験、公園などの都市農村交流施設が多数あり、道の駅とこれらが相互に連携して、来訪者がゆったりと快適に楽しめる環境を形成しているのが特徴となっている。

宿泊施設は、民宿、旅館、ホテル228施設（H17現在）有しており、露地花や海水浴に訪れる家族連れや臨海学校の生徒が利用している。



道の駅とみうら 枇杷倶楽部

### (3) マーケットの状況

近年の旅行者のニーズは、見物型観光から体験型観光へシフトし、さらに家族は滞在型保養志向、若者はマリンスポーツや人々とのふれあいへの参加など活動体験型志向、高齢者では健康保養志向など細分化が進み多様化されてきている。

自然、環境、交流、健康、保養をテーマとしたエコツアーは、まさにこうしたニーズに応えるものであり、新たな観光客数の発掘やリピーターの増加に期待することができる。さらには参加型、滞在型観光であるエコツアーは、南房総市において課題となっている宿泊客減少傾向に歯止めをかける可能性も高い。

千葉県においても、観光立県ちばをスローガンに観光政策に力を入れている。これらの取り組みの1つとして、国内最大級の観光キャンペーン「ちばデスティネーションキャンペーン」を展開し、観光関連業界、地域、行政が一体となって、地域資源の見直しを行い、南房総の特色を生かした新たな体験型イベントの創造がされるなど、既存の観光のあり方の脱却を図る新たな取り組みを行う機運の醸成が図られている。

このような官民一体となった積極的な誘客プロモーション活動により、全国的に千葉県の観光素材がクローズアップされ、絶好の機会を迎えている。

このような機会を活かし、南房総市に多く存在する地域資源をエコツーリズムという切り口で捉え直し、南房総市のエコツアーの役割は何かを考えながら、マーケティング戦略を構築する必要がある。現在のニーズの多様化、細分化はさらに進む中で、他地域との差別化を図るためには、狙うべきターゲット層の明確化を図り、「エコツアー商品開発」「適正価格の設定」「流通チャンネル」「プロモーション」を展開していくことが大切だからである。

本地域の立地条件や有する自然資源を考えると、入門～中級までのエコツアーを推進することが、市場のニーズに適応するものと思われる。



東京でのプロモーション活動

#### (4) エコツアー資源リストアップ

南房総地域で行われている体験型観光の資源を旧町村単位でリストアップを行った。当然のことながらすべてを網羅することは難しく、代表的なものとなったが、184プログラムとかなりの資源を有している。このほか、神社のお祭りやお寺の縁日などのイベントもエコツアーの資源として重要である。

	地域	体験型観光プログラム名	実施団体	対象	実施会場	分類	体験型観光プログラムの内容	種類	期間	料金(人)	ガイド	予約	催行人数	展示	宿泊	食事	物販
1	富山	地引網体験	岩井民宿組合	小・中	岩井海岸	ツアー型	岩井海岸で地引網を体験する。	漁業	通年	1網 ¥57,750			50人～500人				
2	富山	あじの干物づくり	岩井民宿組合	小・中	岩井海岸	ツアー型	獲れたての鰯を使った干物作り。	漁業	通年	¥472			10人～300人				
3	富山	磯釣り	岩井民宿組合	小・中	岩井海岸	ツアー型	磯などの浅瀬から釣りを体験する。	漁業	通年	¥735			10人～100人				
4	富山	船釣り	岩井民宿組合	小・中	岩井海岸	ツアー型	漁船で沖に出たての釣りを体験する。	漁業	通年	¥2,100			10人～200人				
5	富山	房州うちわづくり体験	岩井民宿組合	小・中	民宿	ツアー型	房州うちわづくりを体験する。	文化・産業	通年	¥1,050			10人～300人				
6	富山	海ホテル観察	岩井民宿組合	小・中	岩井海岸	ツアー型	海ホテルの観察	自然観察	通年	無料			10人～300人				
7	富山	漁業組合荷揚げ場見学	岩井民宿組合	小・中	小湍漁港	フィールド型	早朝、漁港に水揚げされる様子を見る	漁業	通年	無料			5人～40人				
8	富山	酪農体験	岩井民宿組合	小・中	牧場	ツアー型	牛舎で搾乳やえさを与える。	農業	通年	¥1,575			30人～60人				
9	富山	とこてん作り	岩井民宿組合	小・中	民宿	ツアー型	地の天草を使ってとこてんを作る。	料理	通年	¥525			10人～300人				
10	富山	バーベキュー	岩井民宿組合	小・中	岩井海岸	ツアー型	海岸でバーベキューを行う。	料理	通年	¥1,575			20人～300人				
11	富山	びわ収穫体験	岩井民宿組合	小・中	枇杷山	ツアー型	房州の名産、枇杷を収穫体験する。	収穫	6月	¥1,260			10人～60人				
12	富山	野菜収穫体験	岩井民宿組合	小・中	野菜畑	ツアー型	新鮮な野菜収穫し、それを料理する。	収穫	4・5月	¥840			20人～200人				
13	富山	菜の花摘み	富菜里とみやま	一般	富菜里畑	ツアー型	食用の菜の花詰め放題	収穫	1・2月	¥200			1人～				
14	富山	たけのご狩り	富菜里とみやま	一般	筍の山	ツアー型	筍狩り、お土産がつく。	収穫	4・5月	¥600			1人～10人				
15	富山	びわ狩り	富菜里とみやま	一般	枇杷山	ツアー型	園内30分食べ放題。	収穫	6月	¥2,000			1人～				
16	富山	干物づくり	富菜里とみやま	一般	おさかな工房	ツアー型	小あじ7枚	収穫	通年	¥1,050			1人～40人				
17	富山	みかん狩り	富菜里とみやま	一般	吉沢	ツアー型	園内30分食べ放題。	収穫	10月～12月	¥400			1人～				
18	富山	どろんこ交流会	富菜里とみやま	一般	吉井集会所	ツアー型	田植え、稲刈りなどを行う。	農業	2・4・9月	¥1,500			1人～20人				
19	富山	ふるさと生活塾	富菜里とみやま	一般	吉井集会所	ツアー型	田舎生活を体験する。	農業	随時	¥25,000			1人～20人				
20	富山	そば打ち体験	富菜里とみやま	一般	吉井集会所	ツアー型	そば打ち体験をする。	料理	随時	¥3,000			1人～20人				
21	富山	花摘み体験	富菜里とみやま	一般	露地畑	ツアー型	季節の花摘み	花	随時	¥200			1人～				
22	富山	水仙の遊歩道	富菜里とみやま	一般	二部水仙群生地	フィールド型	水仙の群生地を歩く。	花	12～2月	無料			-				
23	富山	富山ハイキングガイド	岩井案内人の会	一般	富山	フィールド型	富山動植物観察と景観を楽しむ。	自然観察	通年	無料			1人～				
24	富山	とみさん伏姫伝説ハイキング	JR東日本	一般	岩井地区	フィールド型	南総里見八犬伝ゆかりのコースを歩く。	自然・歴史	3月	無料			1人～2000人				

	地域	体験型観光プログラム名	実施団体	対象	実施会場	分類	体験型観光プログラムの内容	種類	期間	料金(人)	ガイド	予約	催行人数	展示	宿泊	食事	物販
25	富浦	漁船に乗って、魚釣り	富浦漁業協同組合	一般	富浦湾	ツアー型	漁師の道具を使用して釣り体験	漁業	通年	¥1,700～			定員200人				
26	富浦	漁船に乗って、海から自然観察	富浦漁業協同組合	一般	富浦湾	ツアー型	県立大房岬自然公園を、漁船に乗って観察	自然観察	通年	900～			定員200人				
27	富浦	堤防からの釣り体験	富浦漁業協同組合	一般	富浦湾	ツアー型	専門家が仕掛け、餌等を用意。指導をあり。	漁業	通年	¥1,050			定員50人				
28	富浦	地引網	富浦漁業協同組合	一般	原回海岸	ツアー型	原回海岸で地引網漁を体験する。	漁業	通年	1網¥57,750			30人～80人				
29	富浦	養殖魚の餌付け	富浦漁業協同組合	一般	富浦湾養殖場	ツアー型	漁協の餌付け船に乗り、養殖場で鯛に餌を与える。	漁業	通年	¥550			定員50人				
30	富浦	漁港見学	富浦漁業協同組合	一般	富浦漁港	フィールド型	水揚げ風景を見学する。	漁業	通年	無料			1人～				
31	富浦	アジの開き体験	富浦の民宿	一般	各民宿	ツアー型	鯿を使った干物作り。	料理	通年	無料			定員20人				
32	富浦	鉢作りと多肉サボテンの寄せ植え	花倶楽部	一般	花倶楽部	ツアー型	多肉サボテンを中心にサボテンの寄せ植えを体験する。	花	通年	¥1,050			定員60人				
33	富浦	花摘みとハウス見学	花倶楽部	一般	花倶楽部	ツアー型	季節の花摘みと栽培方法を見学する。	花	通年	¥250			1人～				
34	富浦	房州うちわづくり体験	枇杷倶楽部	一般	枇杷倶楽部	ツアー型	国指定伝統工芸品房州うちわづくりの一部体験を行う。	伝統工芸	通年	¥1,050			1人～				
35	富浦	いちご狩り	枇杷倶楽部	一般	枇杷倶楽部	ツアー型	いちご狩りを行う。	収穫	1月～4月	¥1,050～			定員60人				
36	富浦	いちごジャムづくり	枇杷倶楽部	一般	枇杷倶楽部	ツアー型	いちごジャムづくりを行う。	料理	1月～4月	¥1,050～			10人～60人				
37	富浦	枇杷ジャムづくり	枇杷倶楽部	一般	枇杷倶楽部	ツアー型	枇杷じゃむづくりを行う。	料理	通年	¥1,050			定員60人				
38	富浦	あじすくい	南房総市	一般	富浦の海岸	ツアー型	遠浅の海岸での生きたアジのつかみ取り体験	漁業	8月	無料			1人～				
39	富浦	オルゴールづくり	枇杷倶楽部	一般	枇杷倶楽部	ツアー型	オリジナルオルゴールづくり	工芸	通年	¥1,500～			定員15名				
40	富浦	たいぶさ探検ツアー	NPO富浦エコミューズ・大房ガイド	一般	自然公園大房岬	ツアー型	樹木、植物、戦争遺跡などの自然発見ツアー	自然・歴史	通年	¥500			2人～10人				
41	富浦	花の富浦ハイキング	JR東日本	一般	富浦地区	ツアー型	大房岬、菜の花畑を巡る。	自然・花	2月	無料			1人～2000人				
42	富浦	菜の花ハイキングツアー	NPO富浦エコミューズ・大房ガイド	一般	枇杷倶楽部周辺	ツアー型	巨大菜の花畑の全景を里山から見下ろす	自然	3月	1回¥2,000			定員20人				
43	富浦	富浦まち歩きマップ	富浦観光案内所	一般	JR富浦駅周辺	フィールド型	地元の生活観と交流を楽しみながらの散策	自然	通年	無料			-				
44	富浦	里見大黒天の特別公開	長泉寺	一般	長泉寺	ツアー型	里見大黒天の特別公開	歴史	1月	無料			1人～				
45	富浦	カーネーションフェスティバル	富浦町青木カーネーション販売研究会	一般	花倶楽部	ツアー型	カーネーションの品種展示・即売を行う。	花	2月	入場無料			-				
46	富浦	菜の花まつり	花の富浦景観づくり協議会	一般	枇杷倶楽部周辺	ツアー型	食用ナバナ摘みやナバナの天鼓譟などのサービスがある。	花	2月	無料			-				
47	富浦	木ともだちNO2木の恵みで作ろう	大房岬少年自然の家	一般	大房岬少年自然の家	ツアー型	木の実やつるを使って、ミニツリーやリースづくりを行う。	工芸	12月	¥500			定員40人				
48	富浦	ウォークラリー	大房岬少年自然の家	一般	大房岬少年自然の家	ツアー型	コマ地図を手がかりに、季節ごとのおもしろさを発見しよう！	自然	1月	¥200			定員200人				
49	富浦	森の料理屋さん	大房岬少年自然の家	一般	大房岬少年自然の家	ツアー型	生地からピザを作る。ドラム缶で焼く(熱々のピザに舌鼓)。	料理	2月	¥500			定員50人				
50	富浦	スターウォッチング	大房岬少年自然の家	一般	大房岬少年自然の家	ツアー型	冬の代表的な星座の星空観察を行う。	自然・観察	2月	¥300			定員40人				
51	富浦	イチゴの国へようこそ	大房岬少年自然の家	一般	大房岬少年自然の家	ツアー型	イチゴ摘みとイチゴのお菓子づくりを行う。	収穫・料理	3月	大人¥5,000 小人¥4,500			定員40人				
52	富浦	ウォッチング富浦	NPO富浦エコミューズ	一般	富浦地区	ツアー型	自然・歴史・その他	自然・歴史	通年	無料			定員50人				
53	富浦	富浦土曜学校	NPO富浦エコミューズ	児童	富浦地区	ツアー型	産業	自然・歴史	通年	無料			定員50人				
54	富浦	枇杷狩り	枇杷倶楽部	一般	富浦地区	ツアー型	枇杷狩りを行う。30分食べ放題	収穫	5月～6月	¥1,900～ ¥2,500			2人～				
55	富浦	菜の花狩り	枇杷倶楽部	一般	富浦地区	ツアー型	菜の花狩りを行う。	収穫	12月～3月	¥300～ ¥500			2人～				
56	富浦	シーカヤック	ソルティーズ	一般	富浦地区(南無谷)	ツアー型	シーカヤックの操作などを学ぶスクール。	自然	通年	¥7,350～			1人～				

	地域	体験型観光プログラム名	実施団体	対象	実施会場	分類	体験型観光プログラムの内容	種類	期間	料金(人)	ガイド	予約	催行人数	展示	宿泊	食事	物販
57	三芳	食用菜花狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	粕谷農園	ツアー型	指定袋で摘み採り	収穫	1月～3月	¥500			1人～				
58	三芳	ボビー摘み	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	粕谷農園	ツアー型	15本摘み採り	花	1月～4月	¥300			1人～				
59	三芳	コスモス摘み	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	粕谷農園	ツアー型	5本摘み採り	花	9月～10月	¥400			1人～				
60	三芳	マスキメロン狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	大久保農園	ツアー型	試食・お土産つき	収穫	通年	¥525			1人～				
61	三芳	水仙摘み	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	大久保農園	ツアー型	6本摘み採り	花	1月～2月	¥300			1人～				
62	三芳	ボビー摘み	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	小島園芸	ツアー型	10本摘み採り	花	1月～3月	¥300			1人～				
63	三芳	ストック摘み	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	小島園芸	ツアー型	5本摘み採り	花	1月～3月	¥500			1人～				
64	三芳	キンセンカ摘み	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	小島園芸	ツアー型	5本摘み採り	花	1月～3月	¥500			1人～				
65	三芳	たけのこ狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	りっちゃん農園	ツアー型	たけのこの収穫体験 1*、600円	収穫	4月	¥400			1人～				
66	三芳	いちご狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	りっちゃん農園	ツアー型	30分食べ放題	収穫	1月～5月	¥1,000			1人～				
67	三芳	トマト狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	植松農園	ツアー型	1キロもぎ採り	収穫	12月～5月	¥500			1人～				
68	三芳	温州みかん狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	植松農園	ツアー型	食べ放題	収穫	10月～12月	¥400			1人～				
69	三芳	食用菜花狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	観光温室夢の花かん	ツアー型	食べ放題	収穫	12月～3月	¥300～			1人～				
70	三芳	ソラマメ狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	観光温室夢の花かん	ツアー型	食べ放題、お土産付	収穫	5月	¥500～			1人～				
71	三芳	ブルーベリー狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	観光温室夢の花かん	ツアー型	食べ放題、お土産付	収穫	6月～8月	¥1,000			1人～				
72	三芳	ドラゴンフルーツ狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	観光温室夢の花かん	ツアー型	食べ放題、お土産付	収穫	7月～11月	¥400			1人～				
73	三芳	カトレア狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	観光温室夢の花かん	ツアー型	花摘み	花	通年	¥800～			1人～				
74	三芳	カーネーション狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	地引農園	ツアー型	3本摘み採り	花	12月～5月	¥300			1人～				
75	三芳	金魚草狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	地引農園	ツアー型	3本摘み採り	花	12月4月	¥300			1人～				
76	三芳	食用菜花	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	田村農園	ツアー型	指定袋で摘み採り	収穫	11月～4月	¥300～			1人～				
77	三芳	ソラマメ狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	田村農園	ツアー型	1キロ単位で収穫体験	収穫	5月	¥500			1人～				
78	三芳	とうもろこし狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	田村農園	ツアー型	3本もぎ採り 試食付	収穫	6月～8月	¥500			1人～				
79	三芳	いちご狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	平野観光農園	ツアー型	30分食べ放題	収穫	1月～5月	¥1,000～			1人～				
80	三芳	温州みかん狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	三芳村みかん狩り組合	ツアー型	食べ放題	収穫	10月～12月	¥400			1人～				
81	三芳	温州みかん狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	杉田農園	ツアー型	食べ放題	収穫	10月～12月	¥400			1人～				
82	三芳	温州みかん狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	三平農園	ツアー型	食べ放題	収穫	10月～12月	¥400			1人～				
83	三芳	房州レモン狩り	三芳村ちよっぴり体験組合	一般	三平農園	ツアー型	レモンの収穫体験	収穫	10月～1月	1個¥100			1人～				
84	三芳	大日山遊歩道		一般	三芳地区	フィールド型	ハイキングコース	自然	通年	無料			-				
85	三芳	沢山不動滝 遊歩道・吊橋		一般	三芳地区	フィールド型	ハイキングコース	自然	通年	無料			-				
86	三芳	坊滝遊歩道		一般	三芳地区	フィールド型	ハイキングコース	自然	通年	無料			-				
87	三芳	遊遊の里遊歩道		一般	三芳地区	フィールド型	ハイキングコース	自然	通年	無料			-				
88	三芳	ファームイン南房総	三芳村滞在型農園施設組合	一般	三芳地区	フィールド型	滞在型農園施設 地域周辺の農業体験を紹介する。	農業	通年	1室¥14,000～			1人～				
89	三芳	花束づくり体験	株式会社はな工房	一般	加工施設	ツアー型	花束の加工体験(10～30束)1束～2束をおみやげ	花	通年	¥1,000			2人～				
90	三芳	工場見学	有限会社安房麦酒	一般	かあさんの味工場	ツアー型	地ビールの生産工程見学	産業	通年	無料			-				
91	三芳	里山わんぱく塾	中環子どもに学ぶ会	小・中	中の環 ゆうゆうの里	フィールド型	山遊び、竹細工遊び、草花遊び、水棲動物と遊びなど	自然・工芸	通年	¥500			1人～				
92	三芳	オープンキッチン	鄙の里	一般	鄙の里	ツアー型	地元のお母さんが教える郷土料理教室	料理	通年	¥500～			1人～				
93	三芳	田んぼの学校	三芳自然塾	一般	三芳地区(川名)	ツアー型	田んぼの生きもの調査、実習など	自然	5月	¥1,500			1人～				
94	三芳	春の里山を歩こう	三芳自然塾	一般	三芳地区	ツアー型	春の里山をあるきながら自然観察をする。	自然	4月	¥300			1人～				

	地域	体験型観光プログラム名	実施団体	対象	実施会場	分類	体験型観光プログラムの内容	種類	期間	料金(人)	ガイド	予約	催行人数	展示	宿泊	食事	物販
95	和田	ハイキング	自然の宿「くすの木」	一般	施設周辺	フィールド型	花嫁街道他 地域の散策	自然観察	通年	花嫁街道案内¥3,000			1人～				
96	和田	サイクリング	自然の宿「くすの木」	一般	施設周辺	フィールド型	自転車による周辺散策	自然観察	通年	1台¥200			1人～10人				
97	和田	たけ籠づくり	自然の宿「くすの木」	一般	くすの木	ツアー型	竹を編んで籠作り	文化・産業	通年	¥1,500			10人～30人				
98	和田	竹細工	自然の宿「くすの木」	一般	くすの木	ツアー型	竹とんぼ水鉄砲、竹鉄砲などを作る	普遊び	通年	¥1,000			10人～30人				
99	和田	わら細工	自然の宿「くすの木」	一般	くすの木	ツアー型	しめ縄、わらぞうりなどを作る	文化・産業	通年	¥1,000			10人～30人				
100	和田	リースづくり	自然の宿「くすの木」	一般	くすの木	ツアー型	山のツルを使ったリースづくり	普遊び	11～12月	¥1,500			10人～30人				
101	和田	しいたけの駒打ち	自然の宿「くすの木」	一般	くすの木	ツアー型	しいたけの駒打ち体験	林業	2～3月	¥1,500			10人～30人				
102	和田	星の観察	自然の宿「くすの木」	一般	くすの木	ツアー型	星の観察	自然観察	7～3月	無料			1人～				
103	和田	陶芸体験	自然の宿「くすの木」	一般	くすの木	ツアー型	陶芸体験	文化・産業	通年	¥1,000～			10人～30人				
104	和田	水稲	自然の宿「くすの木」	一般	施設周辺	ツアー型	田植え、稲刈り体験	収穫	5・8～9月	¥1,000			10人～50人				
105	和田	野菜収穫	自然の宿「くすの木」	一般	施設周辺	ツアー型	旬の野菜の収穫体験	収穫	8～9月 11月～3月	¥500～			10人～30人				
106	和田	酪農	自然の宿「くすの木」	一般	施設周辺	ツアー型	乳搾りなど酪農体験	農業	通年	¥500			10人～20人				
107	和田	納豆作り	自然の宿「くすの木」	一般	くすの木	ツアー型	くすの木特製納豆づくり体験	料理	通年	¥500			10人～30人				
108	和田	餅つき	自然の宿「くすの木」	一般	くすの木	ツアー型	餅つき体験	料理	9～4月	1日 ¥7,000 惣菜料1人 ¥200			10人～30人				
109	和田	田舎寿司づくり	自然の宿「くすの木」	一般	くすの木	ツアー型	太巻き寿司づくり体験	料理	通年	1人前 ¥800 惣菜料1人 ¥200			10人～30人				
110	和田	干物づくり体験	ネイチャースクールわくわくWADA	一般	和田漁協周辺	ツアー型	アジ、さば等の干物づくり体験	加工	通年	¥1,000～			10人～40人				
111	和田	漁業体験	ネイチャースクールわくわくWADA	一般	和田漁協周辺	ツアー型	刺網漁の実践体験	産業	8月後～10月	¥10,000～			5人～10人				
112	和田	森林体験	ネイチャースクールわくわくWADA	一般	和田町内	ツアー型	1泊2日の森林体験(間伐・枝打ち等)	産業	通年	¥10,000～			5人～				
113	和田	酪農体験	ネイチャースクールわくわくWADA	一般	和田町内	ツアー型	1泊2日の酪農体験(搾乳・餌やり)	産業	通年	¥10,000～			5人～				
114	和田	花嫁街道ハイキング	和田歩歩こう会	一般	和田町内	フィールド型	花嫁街道のハイキング	自然観察	通年	ガイド1人 ¥10,000			1人～				
115	和田	定置網水揚げ見学	和田町漁業協同組合	一般	和田漁協周辺	フィールド型	定置網の水揚げ見学	漁業	通年	無料			1人～				
116	和田	くじら解体見学	外房捕鯨株式会社	一般	和田漁協周辺	フィールド型	ツチ鯨の水揚げ解体見学	漁業	6/20～8末	無料			1人～				

	地域	体験型観光プログラム名	実施団体	対象	実施会場	分類	体験型観光プログラムの内容	種類	期間	料金(人)	ガイド	予約	催行人数	展示	宿泊	食事	物販
117	丸山	田植え体験	いきいき体験共和国	小・中	施設周辺	ツアー型	田植え作業後、蒸かし芋のおやつ(苗代含む)	農業	5月	¥1,200			10人				
118	丸山	稲刈り体験	いきいき体験共和国	小・中	施設周辺	ツアー型	田植え作業後、蒸かし芋のおやつ(収穫米は別料金)	農業	9月～10月	¥1,000			10人				
119	丸山	ジャガイモ収穫	いきいき体験共和国	小・中	施設周辺	ツアー型	ジャガイモ掘り	農業	5～6月	1キロ/¥400円			10人				
120	丸山	酪農体験	いきいき体験共和国	小・中	近隣酪農家	ツアー型	哺乳・乳搾り・餌やりの体験後に搾りたての牛乳を試飲	農業	通年	¥1,500			10人				
121	丸山	哺乳	いきいき体験共和国	小・中	いきいき館	ツアー型	子牛に哺乳瓶を使って乳を飲ませる	農業	通年	¥500			10人				
122	丸山	哺乳と牛乳寒天作り	いきいき体験共和国	小・中	いきいき館	ツアー型	子牛の哺乳と地元の牛乳を使った簡単デザート作り	農業	通年	¥800			10人				
123	丸山	アイスクリーム作り	いきいき体験共和国	小・中	いきいき館	ツアー型	地元の牛乳と卵を使ったアイスクリーム作り	料理	通年	¥400			10人				
124	丸山	バター作り	いきいき体験共和国	小・中	いきいき館	ツアー型	氷と生クリームで作るバター作り	料理	通年	¥400			10人				
125	丸山	豆腐作り	いきいき体験共和国	小・中	いきいき館	ツアー型	地元産大豆で作るおぼろ豆腐とおからを使ったからなます作り	料理	通年	¥700			10人				
126	丸山	そば打ち体験	いきいき体験共和国	小・中	いきいき館	ツアー型	そば作り体験・天ぷら付き	料理	通年	小¥800 大¥1,000			10人				
127	丸山	いもまんじゅう作り	いきいき体験共和国	小・中	いきいき館	ツアー型	さつまいもを使って、饅頭・茶巾絞作り	料理	通年	¥500			10人				
128	丸山	きな粉給作り	いきいき体験共和国	小・中	いきいき館	ツアー型	きな粉と砂糖で昔なつかしいおやつ作り	料理	通年	¥400			10人				
129	丸山	餅つき体験	いきいき体験共和国	小・中	いきいき館	ツアー型	臼と杵で餅つきを楽しみ付いた餅をきな粉や大根おろしで味わう	料理	通年	¥800			10人				
130	丸山	イチゴ狩りとジャム作り	いきいき体験共和国	一般	いきいき館	ツアー型	20分いちご食べ放題とジャム作り(1瓶お土産付き)	農業	4～5月	¥1,500			10人				
131	丸山	イチゴ狩り	いきいき体験共和国	一般	いきいき館	ツアー型	1人ジャム1瓶お土産付き	料理	4～5月	¥900			10人				
132	丸山	夏みかん狩りとマーメイド作り	いきいき体験共和国	小・中	施設周辺	ツアー型	無農薬夏みかん3個もぎ取り1個はマーメイドに、2個と1瓶お土産	農業	4～7月	¥800			10人				
133	丸山	竹の子狩りとマーメイド作り	いきいき体験共和国	小・中	施設周辺	ツアー型	淡竹掘り、3本(1本を炊き込みご飯)	農業	5～6月	¥1,200			10人				
134	丸山	竹の子狩り	いきいき体験共和国	小・中	施設周辺	ツアー型	淡竹掘り	農業	5～6月	1キロ/¥500円			10人				
135	丸山	あじの開き作り	いきいき体験共和国	小・中	施設周辺	ツアー型	3匹さばいて、1匹を試食 2匹お土産	料理	通年	¥800			10人				
136	丸山	太巻き寿司作り	いきいき体験共和国	小・中	施設周辺	ツアー型	房州郷土料理、絵柄寿司2本	料理	通年	¥1,100			10人				
137	丸山	イカメシ作り	いきいき体験共和国	小・中	施設周辺	ツアー型	1人1匹の料理体験	料理	通年	¥700			10人				
138	丸山	草木染め	いきいき体験共和国	小・中	施設周辺	ツアー型	野山の草木や身近な材料を使ってオリジナルハンカチ作り	工芸	通年	¥800			10人				
139	丸山	竹炭作り	いきいき体験共和国	小・中	施設周辺	ツアー型	ドラム缶釜での伏せ焼きを体験	工芸	通年	¥1,100			10人				
140	丸山	水鉄砲作り	いきいき体験共和国	小・中	施設周辺	ツアー型	竹を使ったつ炭焼き体験	工芸	通年	¥400			10人				
141	丸山	わら細工	いきいき体験共和国	小・中	施設周辺	ツアー型	縄をなうことから始めリースや宝船・亀などを作成	工芸	通年	¥600			10人				
142	丸山	里山散策旧家を訪ねて	いきいき体験共和国	小・中	周辺里山	フィールド型	里山と水田家を散策	自然	通年	1団体¥5,000			20人				
143	丸山	風ほたるの学校	いきいき体験共和国	小・中	がんこ山	ツアー型	風力発電や太陽光発電などのエネルギーを学ぶ	自然	通年	¥1,500			20人				
144	丸山	里山ハイキング	安馬谷里山研究会	一般	安馬谷里山	ツアー型	全工程10キロ程度を1日かけてハイキング	自然	3・6・11月	¥100			10人				
145	丸山	ローズマリー公園	丸山町振興公社	一般	施設内	ツアー型	ヨーロッパのノット式庭園	自然	通年	-			1人				
146	丸山	シェークスピアカントリーパーク	丸山町振興公社	一般	施設内	ツアー型	劇作家シェークスピアのテーマパーク	歴史文化	通年	¥800			1人				
147	丸山	イチゴ狩り	丸山町振興公社	一般	施設周辺	ツアー型	いちごのもぎ取り体験	農業	1～5月	¥1,300			1人				
148	丸山	いも掘り	丸山町振興公社	一般	施設周辺	ツアー型	さつま芋の収穫体験(1人2株)	農業	8～10月	¥500			1人				
149	丸山	コスモス摘み	丸山町振興公社	一般	施設周辺	ツアー型	コスモス摘み体験。(1人10本)	農業	8～9月	¥300			1人				
150	丸山	ローズマリーのリース作り	丸山町振興公社	一般	施設内	ツアー型	ローズマリーを使ったリース作り	工芸	通年	¥500			4～50人				
151	丸山	ローズマリーのお香作り	丸山町振興公社	一般	施設内	ツアー型	エッセンシャルオイルを使って作るお香	工芸	通年	¥500			4～40人				
152	丸山	香の石鹸作り	丸山町振興公社	一般	施設内	ツアー型	ローズマリーやローズなどのハーブエッセンシャルオイルを入れて石鹸作り	工芸	通年	¥500			4～40人				
153	丸山	ミニ・フラワーアレンジメント	丸山町振興公社	一般	施設内	ツアー型	地元の花を使ったフラワーアレンジメント体験	工芸	1～3月	¥900			4～40人				
154	丸山	竹細工	丸山町振興公社	一般	施設内	ツアー型	竹を使って、水鉄砲や竹とんぼなどのおもちゃ作り	工芸	通年	¥500			10～40人				
155	丸山	火おこし体験	丸山町振興公社	一般	施設周辺	ツアー型	木を擦り合わせて火をおこしぐるぐるパンやさつま芋などを焼く	自然	通年	¥1,000			4～40人				
156	丸山	手作りアイスクリーム	丸山町振興公社	一般	施設内	ツアー型	南房総のミルクと卵で作る手作りアイスクリーム	料理	通年	¥500			4～20人				
157	丸山	太巻き寿司作り	丸山町振興公社	一般	施設内	ツアー型	房総郷土料理、太巻き寿司作り	料理	通年	¥1,500			2～30人				
158	丸山	手作り石鹸	丸山町振興公社	一般	施設内	ツアー型	家庭から出る廃油を使って石鹸作り	工芸	通年	¥500			4～40人				
159	丸山	酪農資料館	丸山町振興公社	一般	施設内	フィールド型	日本の酪農の歴史を学ぶ	歴史文化	通年	¥0			1人				
160	丸山	御殿山ハイキング		一般	御殿山周辺	フィールド型	御殿山ハイキング	自然	通年	¥0			-				
161	丸山	経塚山ハイキング		一般	経塚山周辺	フィールド型	経塚山ハイキング	自然	通年	¥0			-				

	地域	体験型観光プログラム名	実施団体	対象	実施会場	分類	体験型観光プログラムの内容	種類	期間	料金(人)	ガイド	予約	催行人数	展示	宿泊	食事	物販
162	千倉	里山遊歩道ハイキング	観光協会千倉支部	一般	七浦エリア	フィールド型	露地花の里・照葉樹の森・汐の香コース	自然	通年	¥0			-				
163	千倉	花の料理体験	千倉町民宿組合	一般	高家神社	ツアー型	食用花を使った料理体験	料理	1～3月	¥2,900～			2人～50人				
164	千倉	鯉のひらき作り	千倉町民宿組合	一般	町内加工業者	ツアー型	鯉のひらき作り	料理	通年	¥1,500			30人				
165	千倉	みかん狩り	千倉町民宿組合	一般	千倉町久保	ツアー型	みかん山でのみかん狩り	農業	10～3月	¥1,000			30人				
166	千倉	花摘み体験	千倉町民宿組合	一般	千倉町七浦	ツアー型	露地畑に咲く花を摘む	農業	1～3月	¥1,000			1人				
167	千倉	田植え体験	千倉町民宿組合	一般	千倉全域	ツアー型	昔ながらの手作業による田植え作業	農業	5月	¥2,000			30人				
168	千倉	餅つき体験	千倉町民宿組合	一般	指定の場所	ツアー型	臼と杵による餅つきを体験	料理	通年	¥1,500			20人				
169	千倉	稲刈り体験	千倉町民宿組合	一般	千倉全域	ツアー型	昔ながらの手作業による稲刈り作業	農業	9月	¥2,000			30人				
170	千倉	いも掘り体験	千倉町民宿組合	一般	指定の場所	ツアー型	芋掘り体験	農業	9月	¥1,000			30人				
171	千倉	味噌づくり体験	千倉町民宿組合	一般	指定の場所	ツアー型	昔ながらの手法による味噌づくり体験	料理	通年	¥2,000			15人				
172	千倉	ガラス細工づくり体験	千倉町民宿組合	一般	ガラス工房	ツアー型	ガラス工房においてオリジナル作品の作成	工芸	通年	¥3,000			-				
173	千倉	海藻押し藻づくり体験	千倉町民宿組合	一般	指定の場所	ツアー型	採取した海藻を使い押し藻を作る	工芸	通年	¥1,500			10人				
174	千倉	とろてんづくり体験	千倉町民宿組合	一般	指定の場所	ツアー型	地元産のテングサからとろてんを作る	料理	通年	¥1,500			20人				
175	千倉	サイクリング	千倉観光案内所他	一般	千倉全域	フィールド型	海岸線沿いにサイクリング	自然	通年	¥500			-				
176	千倉	メロン狩り	安田農園	一般	安田農園	ツアー型	メロンの収穫体験をする。	収穫	通年	¥500			1人～				
177	千倉	たのくる自然体験	たのくる里の村	一般	たのくる里の村	ツアー型	田んぼの田植えと稲刈り体験を行う。	農業	4月～9月	1組¥20,000			1人～				
178	千倉	南房総フラワーマーチ	南房総フラワーマーチ実行委員会	一般	千倉・富山・丸山地区	ツアー型	ウォーキングの大会5* <sub>a</sub> ・12* <sub>a</sub> ・20* <sub>a</sub> ・40* <sub>a</sub> のコースがある。	自然	3月	¥1,800～			1人～				
179	千倉	サーフィン体験	サザンコースト	一般	南千倉海岸	ツアー型	サーフィンの初歩を体験する。	海	通年	¥4,000			2人～				

	地域	体験型観光プログラム名	実施団体	対象	実施会場	分類	体験型観光プログラムの内容	種類	期間	料金(人)	ガイド	予約	催行人数	展示	宿泊	食事	物販
180	白浜	野島埼灯台の散策		一般	灯台周辺	フィールド型	灯台資料展示室(きらりん館)と周辺を散策	歴史文化	通年	大人¥150円 子供 ¥20円			-				
181	白浜	サイクリング	白浜観光案内所他	一般	白浜全域	フィールド型	サイクリングロード有り	自然	通年	¥500			-				
182	白浜	ハイキング		一般	白浜海側	フィールド型	花畑の中や神社仏閣を巡るハイキングコース	自然	通年	無料			-				
183	白浜	海洋美術館	白浜海洋博物館	一般	施設内	フィールド型	万祝をはじめとした資料館	歴史文化	通年	¥500			-				
184	南房総	くるくる車らん	千葉県・南房総市	一般	南房総地域内	フィールド型	レンタサイクル	自然	通年	¥500			-				

## (5) 資源の評価

南房総市で行われている主な体験型観光プログラムを地域ごとに整理し、現在の状況についての評価と今後の課題についてまとめた。

### (ア) 収穫と料理体験プログラムが中心

房総半島の温暖な気候を生かした花、果物などが豊富にあり、体験型観光の多くは、花摘みやイチゴ狩りなどの収穫体験が占め、通年を通じて実施されている。

季節による偏りがあるので、一年を通してどのような収穫体験がどこで出来るか、端境期の季節はいつかなどをきちんと整理して、プログラムの充実を図ることが求められる。

### (イ) 自然観察 自然体験するプログラム

自然に恵まれている環境にありながら、この自然体験、自然観察のプログラムは、少ない状況と言える。千葉県での自然体験は、知床半島や屋久島などと比較すると、上級ユーザーの立場からは、魅力的なもとはいえないのかもしれない。

しかしながら、本市は、巨大マーケットを有する都心近郊から100キロ圏内に位置しており、都会から身近に手軽に里山や海の自然に触れることが出来る強みがある。エコツーリズムの入門、初級者向けのエコツアーを意識しながら展開することで、エコツーリズムの裾野を広げる役割を担うことができる。

また、海の自然体験メニューが少ないことから、シーカヤックのような、海の環境をいかしたプログラムの開発と支援による、特徴的な自然体験の提供は今後の課題である。

### (ウ) 文化体験プログラム

南総里見八犬伝を標榜していながら、それを題材とした、ツアーはほとんど見受けられない。南総里見八犬伝のブランドのみに頼りきっている様子が伺える。

南総里見八犬伝という地域資源をこれまで以上に有効活用するために、もう一度文化的資源の再発掘を行い、エコツアーの提供方法の研究を行う必要がある。

### (エ) 創作体験プログラム

体験プログラムの中で、特に旅行者の思い出になるのは、収穫の体験と創作体験である。南房総市の体験プログラムには、創作体験が少ないことが挙げられる。本市においては、各ツアーの中で行われているため、創作体験としてのプログラムが少ないのであろうか。いづれにしても、創作体験プログラムは、一般的にも人気が高く、充実する必要がある。

創作体験プログラムは、各活動団体において、指導者や技術などのノウハウを共有し、体験プログラムを地域内随所で行われるよう

にすると良いのではないだろうか。

併せて、地域内共通のキャラクター開発など行うことで、多くの人が創作体験し、持ち帰ることで、広告効果を期待することができる。

(オ) 料金体系

多くの体験プログラムが1,000円以下である。

現状としては付加価値もあまりなく仕方ないのかもしれないが、業として営むには難しい金額と言える。

また、同じような体験でも料金にばらつきがある。多分同じ体験といっても、そのレベル、提供するものもばらつきがあると思われる。

これらのレベルの統一と料金の均一化も、旅行者に対して安心を提供することになるので、調整が必要である。



収穫体験プログラム(いちご狩り)

## 2. 課題の確認

### (1) 課題

#### (ア) エコツアーのビジョンの確立

資源の評価でも触れたように、地域内で提供している体験プログラムの整理をし、多様化する旅行ニーズに応じたテーマ性、周遊性に優れたエコツアーの開発が望まれている。そしてそれが地域市民にとって経済的、精神的な満足を得られるようにするために、明確なビジョンの確立が求められている。

#### (イ) 人材が不足

魅力あるエコツーリズムを展開するためには、エコツアーガイドの存在は不可欠である。しかし、自然環境への配慮やガイディング能力など、個人間ではばらつきがあり、総合的に質の高いエコツアーが必ずしも提供されている状況にはない。地域全体で優れたエコツアーガイドを育成、研修するシステムが欠落している。

さらに、各団体指導者の高齢化やエコツアーが生業として成立が困難なことから、各団体が自力で後継者を養成することは不可能に近い現状である。

また、養成したガイドも集客不足から活躍できる機会が少なく、維持・確保が難しい。エコツアーガイドは現在、収入が不安定な職業であり、育成したエコツアーガイドが定着するためには厳しい環境である。

#### (ウ) 拠点施設の拡充

市町村合併の効果として、今まで各町村に点在していた拠点施設を、ユーザーにとってさらに魅力的なものとするために、それらを結節するための整備が求められる。

例えば、各ハイキングコースをつないで、ロングトレイルコースにすると様々なユーザーのニーズに対応することになると同時に周遊性にも優れ、経済効果の増大やリピーターの確保などに期待ができる。このほか道の駅の連携も大きな効果が期待できると思われる。

#### (エ) 集客が必要

体験プログラムを採算ベースにのせるためには、今以上の集客が必要である。エコツーリズムは、自然環境の保全とともに、観光を成立させる取り組みであるが、南房総市の現状は、自然環境の保全や、ローインパクト を心配する以前に、体験プログラムの整備と

情報発信を充実することにより、一人でも多くの人を訪れてもらえることが優先といえる。

ローインパクト：

自然の中での活動や生活をするときに、可能な限り自然に影響を与えないように配慮すること。特に、テント泊などで、大地と直接接する生活スタイルの場合には排泄、排水、ゴミ処理など課題は多い。

#### (オ) 連携の不足

南房総市が合併して間もないということもあり、現状では、それぞれの地域で個別に事業を展開している。

各地域の特性や観光資源、人、情報、技術を活用したエコツアーによる地域活性化を展開していくためには、地域連携が不可欠であり、広域的なコーディネーター機能が求められる。



臨海学校で賑わう岩井海岸

### 3. 課題を解決するための検討

#### (1) 実施されている体験プログラムの整理

エコツアー資源リストアップでも分かるように、南房総市内でもすでに多くの体験プログラムが実施されている。その対象や、会場、体験の種類、機関、料金の有無、ガイドの有り無し、予約に要不要、受入人数などの比較でもわかるように、各団体がそれぞれに実施しており、整理がされていない。上級と初級のプログラムなどが混在していたり、同じプログラムでも料金が異なったりしている。ユーザーの視点やニーズに立って、南房総市として整理が必要と思われる点が明らかになってきた。

#### (ア) 南房総市のエコツアーの役割

南房総市で展開されるエコツアーの理想の形とはいったいどのようなものが考えられるであろうか。

東京から自家用車で2時間足らずという立地条件と自然環境を考えると、屋久島や知床半島のエコツアーのような上級編のようなものではなく、非常に入門的なエコツアーの役割を担うことが、ニーズにマッチしていると考えられる。

それは、イチゴ狩りやみかん狩りなどのような一般の体験旅行とあまり変わらないように見られるかもしれないが、エコツアーの違いをきちんと整理して、地域や自然保全への関心を深め理解を高めるプログラムとすることで差別化を図ることが求められる。

入門的なエコツアー：楽しくて、ちょっと勉強になる

#### (イ) ツアー型と受入型

活動を整理すると、参加者が集まった時点で、出かけていくツアー型と、その場所で行う受け入れ型が見受けられる。

それぞれの形に特徴があり、費用の設定等についてもこの整理をしておかなくては、算出できないと考えられる。

具体的に整理すると以下のようなになる。

##### ツアー型

フィールドを案内していくプログラムである。

##### 指導者のいるツアー

- ・拠点がある。
- ・拠点が無い。

道標や地図による誘導によるツアー（セルフガイド）

### 受け入れ型

施設や、フィールドを固定して受け入れる、そこでプログラムを提供する。

指導者が指導する。

見学や体験を各自で行う。

## (2) 人材

エコツーリズムの推進では、とりわけ地域コーディネーターとガイドが果たす役割は大きい。これらの人材は、地域の自然・歴史・文化資源と最も身近に接しており、それらの過去の歴史や地域における価値などを含め、幅広く把握している人が望ましい。

### (ア) 養成

南房総市では、指導者の養成は、各団体で行っているところと、行っていないところがあるなど、不均衡な状況である。養成についても組織的に研修を行っているというよりは、多分に伝承的であり、組織的、継続的な育成を行うのは経済的にも大変難しい状況にある。

本市においては、地域全体で優れたエコツアーコーディネーター・ガイドの養成、研修をするプログラムとシステムを構築することが早急に求められている。

### (イ) 人材の活用

職業としてのエコツアーガイドは収入が不安定な状況であり、質の高いコーディネーターやガイドに成長してもこの地域に定着しない可能性がある。人材養成とともにコーディネーターやガイドが定着できる環境の整備も合わせて構築する必要がある。そのためにはエコツアーを安易な安売り競争に陥ってはならず、質を高める競争へと転換しなければならない。南房総におけるエコツアーのブランド化を図り、安定した収入を得られる環境を作ることが望まれる。

このような環境になれば、成長した人材の活用が図られ、地域とのつながりもでき、地域と結びついたエコツーリズムの展開が可能となる。

## (2) 施設整備

利用フィールド及び関連施設等の整備については、保全と活用のバランスを考えながら、ユーザーのニーズを取り入れたものにする必要がある。

関連施設としては、休憩所、遊歩道、トイレ、案内板その表示などが考えられる。これらの施設は、本来の役割に加えて、環境への負荷を最小限に止めることや、周囲の景観や地域の風土との調和を図ること、さらに、快適な利用が行われ、安全性を確保すること等に配慮した整備が求められている。

(ア) 関連施設の統一を図る必要がある。

市町村合併して間もない南房総市においては、セルフガイドのための案内板や表示等の統一を図る必要がある。

特に道標などは、それぞれ地域でデザインや設置の方法が異なっており、ユーザーの立場からは、統一したものが求められる。さらに安全対策にも係わるため、急務といえる。

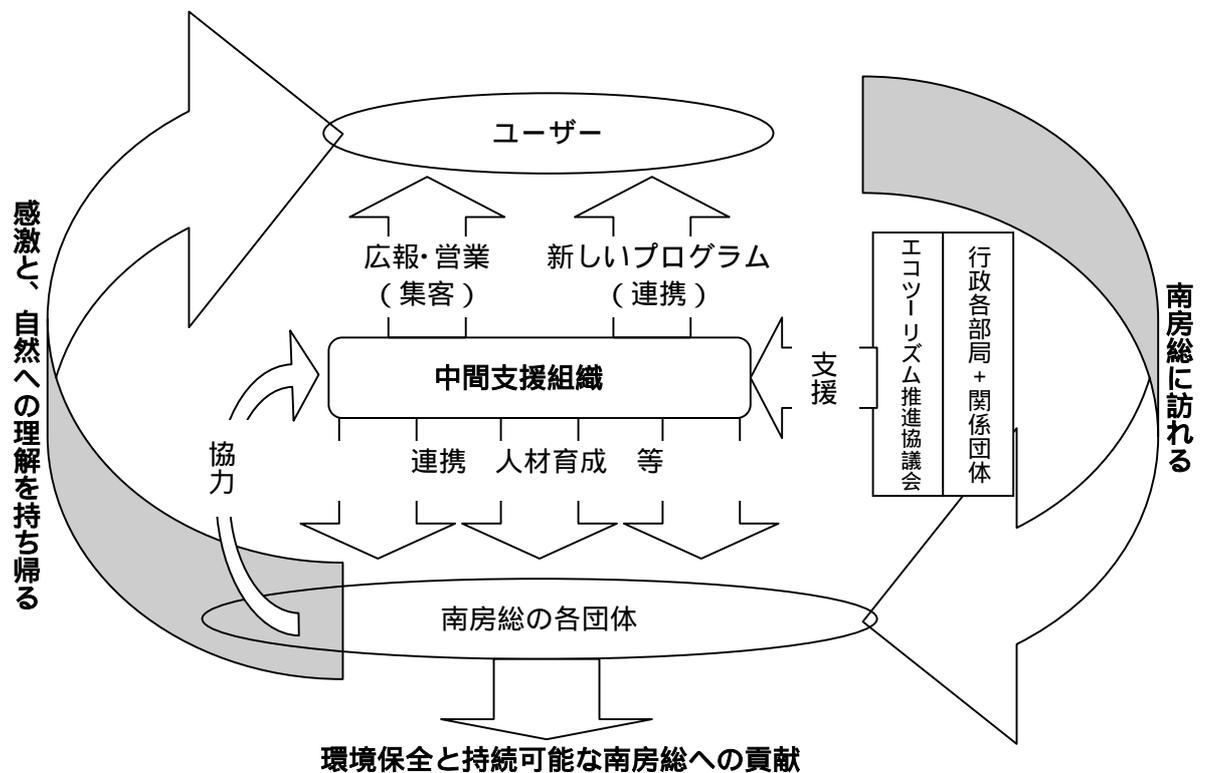
(イ) 関連施設のバランス良い整備が必要である。

トイレや休憩所など基本的施設は、市町村合併による空白地がないように再点検と整備が求められる。



課題の解決に向けて(ワークショップ)

#### 4. 課題の解決の方策



##### (1) 中間支援組織（仮称）の設置

市町村合併により広範囲となった市域と多様な資源を有する南房総市において、エコツーリズムを総合的に展開していくためには、地域や関係機関が共通認識を持ち、事業を展開していく必要がある。

南房総エコツーリズム推進の核になる恒常的な組織である中間支援組織の構築が、課題の解決として求められている。

中間支援組織は、各地域にある各団体の調整、ネットワーク化や新しいプログラムの開発、人材の養成、情報発信、営業活動など、南房総エコツーリズムを総合的にマネジメントし、受け皿と集客の強化を図る。ユーザーにとっても窓口を一本化することになり、利便性の向上につながることになる。

その役割を具体的に整理すると以下のことが考えられる。

(ア) コーディネーター機能

活動団体間の連携を図る  
行政との連携を図る。(補助事業の仲介等)  
行政区を越えた連携を図る。  
企業との連携を図る。  
地域素材の品質管理を図る。  
各団体への支援を図る。  
各種相談・調整を図る。

(イ) ランドオペレーター機能

ユーザーの総合的窓口を担う。  
募集・手配・受入・清算窓口を担う。  
エコツーリズムの普及啓発を図る。

(ウ) プログラムの開発機能

魅力ある体験プログラムの開発を図る。  
滞在に結びつく体験プログラムの開発を図る。  
定住促進に結びつく体験プログラムの開発を図る。

(エ) 人材の育成機能

人材の募集を図る。  
基礎的研修を図る。  
ブラッシュアップ研修を図る。  
安全管理研修を図る。

(オ) 情報発信機能

マスコミ等への広報を図る。  
ニュースレターの発行を図る。  
WEBの活用、南房総のポータルサイトの作成を図る。

(カ) プロモーション機能

営業活動(マーケティングを重視・ターゲットの絞込み)を図る。  
イベントを図る。

(2) 中間支援組織(仮称)を立ち上げのためのエコツーリズム推進協議会(仮称)の設置

中間支援組織は、地域の課題を解決に必要な機能を有する優れた組織であるが、すぐに構築することが難しいばかりか、全国でもその例を見ることができない。

南房総市としては、中間支援組織の立ち上げに向けた、調査研究を行うため、各地域の活動団体と行政関係部局で組織するエコツーリズム推進協議会の立ち上げが早急に求められる。



# 南房総市エコツーリズムの将来像

## 1. 南房総市のあるべき姿

### 『交流による活力あふれる観光と環境教育都市 南房総』

本市は、美しく豊かな海や山などの自然と古くから受け継がれてきた貴重な歴史風土、伝統文化を活用した体験観光プログラム（エコツアー）を中核にすえた南房総市エコツーリズムの取り組みを通じて、自然との共生、農林漁業という人間の根源的仕事への尊敬を抱ける教育を行い、環境に配慮した持続可能な社会づくりと交流に支えられた活力ある産業の育成を目指し、将来像を「交流による活力あふれる観光と環境教育都市 南房総」とする。

また、訪れる人々は、南房総を訪れるのであり、南房総市を訪れているのではないということ、真摯に受け止め、市域を越えて、広く連携していくことが求められる。

## 2. 実現に向けた方策

### (1) 推進体制

(ア) あるべき姿を意識し、南房総市における「エコツーリズム」を持続していくためには、各地域にあるそれぞれの資源をまとめるランドオペレーターとコーディネーター役を担う恒常的運営事務局〔中間支援組織（仮称）〕を核として、市民・事業者・行政等、関係機関が相互に協力・連携できる体制が望まれる。

そのために、関係組織においても長期的な視点を持ちながら、具体的に継続的に協議を重ねるための運営協議会〔エコツーリズム推進協議会（仮称）〕を推進体制として設置する。

(イ) この運営協議会（エコツーリズム推進協議会）によって以下の取り組みの実践を行う。

### (2) 取り組み

(ア) 恒常的運営事務局（中間支援組織）の設置に向けた調査研究。

(イ) ガイドと団体の強化方策

現在いるガイドの登録および研修の開催と、新規ガイド養成研修

## 会の開催

### 新規ガイドと団体の交流会の開催

### 活動団体の要望調査とそれに基づく支援方策の設定と実施

#### (イ) 横断的施策

##### ロングトレイル構想

旧市町村がそれぞれに持っているハイキングコースを一元的に整備し、ロングトレイルについて検討する。(資料編：日本のロングトレイル構想参照)

##### CO2 削減宣言都市

世界的な問題となっている CO2 削減について取り組むため、CO2 削減宣言都市の宣言を行う。

これは、エコツアーを誘客する都市の住民が自らもエコを実践するといったことの話題性はそれだけで、マスコミに取り上げられ誘客材料となる可能性がある。

#### (3) 推進スケジュール

南房総市総合計画策定中につき、策定後関係部局との調整を行い定めるものとする。

# 資料編

## 日本のロングトレイル制作構想 ブロック編（仮称）

### 概要

#### 名称

総延長 500 km ~ 1000 kmを想定する

経路 原則として山麓のトレイル

### 背景

団塊の世代は歩く時代、歩いて旅する時代へ・・・。

年齢的には高い山に登るスキルはないが、健康志向と夫婦の自由時間、生きがい、そして自然志向のライフスタイルなどのニーズが高まる。

歩く旅（トレッキングなど）の需要は、飛躍的に高くなると予想。

このマーケットは、およそ1,000万人であり、今後の自然体験型観光需要を想定すると、3,000万人もの巨大なものに成長する可能性がある。

エコツーリズムなどがこのムーブメントを促進する。

### 意味

アメリカなどでは3,000 kmを越えるロングトレイルがあり、多くのトレッカーで賑わっていると同時に、それぞれのトレイルには様々なコンテンツと物語が存在（ジョンミューアトレイル、アパラチアトレイルなど）し、世界的にも有名である。しかし国内には固有名詞化されたロングトレイルは少なく、一昨年7月にオープンした信越トレイル（飯山市）は、僅か80 kmである。

当該地トレイルは、少なくとも総延長距離で100 kmを想定し、国内で最長のトレイルを目指す。また、当該地は首都圏や中部圏に近くマーケットは大きく、このトレイルの策定によって、新たな自然環境利用による観光活性化に大きく貢献するものと思われる。



### 効果

トレイルを完歩するには、少なくとも1週間~10日程度の日数を要するものとする。

トレイルを歩くことにルールはないが、基本的に宿泊を伴うか、あるいは、非連続で継続するかのどちらかとなる。

いずれにせよ、このトレイルの設定によって、森林保全などの環境教育と、地域の自然体感型観光の活性化にともなう宿泊や滞在需要が喚起できるほか、新たな観光マーケットが広がる可能性が高い。

また、広域連携による新たな観光資源開発となることが予想され、副次的効果も多い。

### スキーム

このスキームは基本的に当該ルート of 自治体などの参画が望ましく、広域連携が必要となる。そのため、事務局を設け、独立したトレイル制作委員会（仮称）のような組織を立ち上げることが必要である。



#### 関係機関

地元自治体、観光協会その他関係団体・機関。  
当該道府県、林野庁、国土交通省、環境省、農水省、など。

#### ボランティア組織

ルートの整備、メンテナンス、さらにはトレッカーの情報サービスには多くのボランティアが必要である。そのため、ボランティア組織の構築が大きな作業のひとつとなる。

#### ルート

ルートは山岳景勝地、名所旧跡、社寺仏閣、その他観光施設、公共施設、アウトドアスポットなどを、あまねく訪ねるようなものとする。

また、このトレイル策定の原則は既存のハイキングコース、登山道、散策路、トレッキングコースなどを連続的に繋ぎながら周回するものである。もちろん、歩道のある一般道や県・国道などを一部利用することも可能とする。

なお、通年利用することを想定し、急峻な山岳地帯は避けるか、予備トレイルとして付記するにとどめる。

なお、コースの選定については、別途委員会などの組織を設け、関係者のコンセンサスを得ることが最も重要な作業である。

#### 施設利用

ルート上には公共のトイレ、浴場の利用を可能とするとともに、協定宿泊所、その他施設の協力も促進し、トレッカーのサービスとホスピタリティにあたることとする。



#### 利用方法

原則として公道（一部私道）であるため歩くのは自由であるが、トレイル完歩認定は事前に申し込み、または登録したものに限る。

#### 完歩認定

トレイル参加者は認定宿泊所または、当該日終着地点の認定所（旅館・ホテルその他）で、スタンプの押印などを受けるとを認定の条件とする。（例示）  
完歩者に対しては、完歩認定証または認定バッジなどを贈呈する。

#### 宿泊・滞在施設

このトレイル協議会（仮称）に参加したホテル・旅館。ペンション・民宿などの宿泊施設は、認定宿泊所または休憩所とする。また、ライフスタイル別のニーズに即して、例えばキャンプ場などの紹介なども、行うことが重要である。

#### イベント

完歩者パーティの開催、トレイル上でのイベント、祭り、その他行事の紹介。  
その他シンポジウムの開催など。

#### 作業の順序

基本コンセプトとグランドデザインの制作

委員会の設置

関係者のコンセンサス（理解 賛同 協力等）

ルートの暫定設定

広域連携の可能性の模索

概算予算の算出 その他

日本ロングトレイル制作委員会資料  
nature intelligence inc.

## 南房総市エコツーリズム基本計画策定ワークショップ名簿

番号	所 属	委員等氏名	備考
1	千葉自然学校	サクライ ヨシエ 桜井 義 維英	コーディネーター
2	南房総市観光協会	マキノ コウジ 牧野 幸司	関係団体
3	南房総市千倉町民宿組合	ホリエ ヨウイチ 堀江 洋一	地域選出委員
4	自然保護指導員	モウリ シゲル 毛利 繁	地域選出委員
5	中ボランティアの会	スガヌマ ヒロオ 菅沼 弘夫	地域選出委員
6	安馬谷里山研究会	ヨコヤマ タケシ 横山 武	地域選出委員
7	NPO 富浦エコムーゼ研究会	スズキ ユウタロウ 鈴木 勇太郎	地域選出委員
8	南房総市観光協会 岩井支部	アダチ オトマツ 足達 乙松	地域選出委員
9	自然の宿「くすの木」	カマタ ケンイチ 鎌田 賢一	地域選出委員
10	南房総市企画部企画政策課	ニシミヤ ツネオ 西宮 恒夫	市職員委員
11	南房総市生活環境部環境保全課	アリハラ ミドリ 在原 みどり	市職員委員
12	南房総市教育委員会	ヤマウチ ヨシユキ 山内 芳之	市職員委員
13	南房総市交流事業課	ウヤマ トミカズ 宇山 富一	市職員委員

### 事務局

1	南房総市交流事業課	スズキ ヨシアキ 鈴木 喜昭	
2	"	フジクラ トモヒロ 藤倉 朋弘	

オブザーバーとして、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団竹内 聖一氏が参加

## エコツーリズム基本計画策定にあたり

### ワークショップ座長 桜井 義維英氏

これらの提案は、多くの研究会、委員会等でも、同様の提案がなされてきている。

それらを検討するという形で先延ばしにするのではなく、これを期に、この提案をすぐに実行に移し、検証しつつ、活動し続けるという民間の発想を、行政が導入していただけることを切に願う。

### ワークショップ副座長 牧野 幸司氏

南房総市の大切な資源である海や山を守る意味でもエコツーリズムの取り組みを推進することは大変重要なことである。

また、これまで各地域でそれぞれに活動をしていた団体の皆さんと一つのテーブルについて、地域の活性化について話すことは大変喜ばしいことであり、これを良い機会として、今後もこのような話し合いの場ができ、観光協会と協力していくことで、これまでの活動をさらに発展させていく必要がある。

### 菅沼 弘夫氏

本会議に出席させていただき、改めて自然環境を守ることの大切さを認識しました。同時に、この房総地方では自然と産業と観光が一体となって相互に連携し合って発展していくべきだと感じました。

その調整機能を果たす機関が、今求められているのではないのでしょうか？  
「その事始は南房総市から始まるのです。」との気概を持ってエコツーリズムの基本策定がなされることを期待します。  
温暖な気候風土、肥沃な耕地、豊かな海に囲まれた房州は、紀伊や伊豆半島にない宝を備えているように思います。温泉はないけれども別のものがあるのではないのでしょうか。

人を大切に、その人が興す産業を盛りたてる。特に第一次産業（農と漁業）を根底から再検討し、産業と観光を結びつけて発展させることではないのでしょうか。

このことは総合的な大事業です。青写真も必要です。が、先ずはできることから一つ、一つ始めることかも知れません。その意味で、生産者と消費者を横断的に結び、それを調整する機能を持つ機関が一日も早く誕生することを願っております。

## 横山 武氏 「ワークショップに参加して」

ワークショップに参加できたことにより、市内には沢山活動していることが分かり大変、参考になりました。

観光事業に歴史の浅い丸山地区としては他に追いつくためには、努力が必要であると改めて思いました。

気候風土に恵まれた南房総ですが何も手を打たなければ、良くなるので今度のような会議は折りを見て続けたいと思う。

観光協会の中に企画委員会を作り、今度のような会議にするとのこと、うれしく思います。ガイドの資格取得や勉強会なども是非実施したいですね。市内の案内板、様式も同じに作りたいです。

今度は特に都市住民との交流を深めたいと考えています。

### 鈴木勇太郎氏

今まで長い間、七町村各々が独自に展開してきた活動でありましたが、この度南房総市の誕生を機に総合的な活動を目指しての基本計画が出来上がりました。これによって南房総地域のエコツーリズムが発展して行くことを期待しています。

### 毛利繁氏

私の住んでいる所は、南房総市の最南端白浜町です。この地域の女性は、昔から夏は海女漁業、冬は露地花を栽培しています。

この花づくりには、約6ヶ月間かけて春の彼岸花として出荷するものです。早いものは1月下旬から開花し、3月が満開の最盛期です。その他に食用菜花も満開となり農地が一変し明るく輝きます。初めて見る人は、その美しさに感動していました。

この光景も3月一杯で見られなくなりますので、エコツーリズム計画に絡め、多くの人々に感心を持ってもらえたらと思っています。

### 山内 芳之氏

見る観光から体験する観光へ旅行者のニーズが変化してきている中で、自然環境や歴史文化を守りながら観光客の誘致を図るためにも「エコツーリズム」の推進は重要なことだと思います。

南房総の恵まれた自然環境を活かした「エコツーリズム」のあり方について、これからも考えていきたいです。

NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団竹内 聖一氏（オブザーバー）

「エコツーリズム基本計画策定ワークショップに参加して」

南房総エリアは首都圏から比較的近にもかかわらず豊かな自然を気軽に親しめる貴重なフィールドです。海に囲まれ温暖な気候と東京湾と外海からなる海辺は変化に富み、海に繋がる里山も含めて様々な生き物と豊かな生態系育み、そういった自然の中に人々の生活も存在しています。南房総エリアにおいて環境に配慮した地域振興である「エコツーリズム」を様々な地域連携によって実践することは、意味が大きく地域のブランド化や魅力作りに大きく貢献すると感じています。